



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 七十七銀行
 コード番号 8341 URL <https://www.77bank.co.jp/>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 取締役頭取
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

(氏名) 小林 英文
 (氏名) 小林 寛
 特定取引勘定設置の有無 無

TEL 022-267-1111

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(記載金額、比率等は単位未満を切り捨てて表示しております。)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	91,880	5.2	21,472	△0.6	14,857	△3.9
2020年3月期第3四半期	87,328	5.6	21,603	25.0	15,467	10.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 47,935百万円 (106.0%) 2020年3月期第3四半期 23,261百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	201.09	—
2020年3月期第3四半期	209.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,414,470	491,727	5.2
2020年3月期	8,770,037	447,436	5.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 491,727百万円 2020年3月期 447,436百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△16.3	14,500	△20.5	196.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	76,655,746 株	2020年3月期	76,655,746 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	2,763,866 株	2020年3月期	2,788,464 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	73,883,416 株	2020年3月期3Q	73,965,426 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

[目 次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
（追加情報）	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5
〔説明資料〕 2020年度第3四半期決算について【単体ベース】	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、株式等売却益の増加等によりその他経常収益が増加したほか、その他業務収益が増加したこと等から、前年同期比45億52百万円増加の918億80百万円となりました。

他方、経常費用は、営業経費が減少したものの、国債等債券償還損の増加等によりその他業務費用が増加したこと等から、前年同期比46億82百万円増加の704億7百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比1億31百万円減少の214億72百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比6億10百万円減少の148億57百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態につきましては、預金（譲渡性預金を含む）は、公金預金は減少したものの、個人預金および法人預金が増加したこと等から、前連結会計年度末比4,064億円増加し、8兆2,724億円となりました。

一方、貸出金は、中小企業向け貸出および住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加したこと等から、前連結会計年度末比1,458億円増加し、5兆320億円となりました。また、有価証券は、国債の運用額が減少したものの、地方債等が増加したことから、前連結会計年度末比1,676億円増加し、3兆713億円となりました。

なお、総資産の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比6,444億円増加し、9兆4,144億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、2020年11月13日に公表した2020年度通期の業績予想を上回っておりますが、今後の与信関係費用の発生を保守的に見込んでおりますこと等から、現時点において業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（追加情報）

国内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当面は弱い動きが続くものと見込まれると仮定し、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う業況悪化等を含め、四半期連結財務諸表作成時点において、入手可能な情報に基づき、貸倒引当金を計上しております。

なお、サプライチェーンの毀損に伴う生産活動への影響や個人消費の落ち込みが続くことにより、景気が一段と下振れするリスク等も懸念される状況にあるため、将来、貸倒引当金は増減する可能性があります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	747,105	1,058,158
コールローン及び買入手形	429	5,000
買入金銭債権	4,000	4,000
商品有価証券	18,873	20,119
金銭の信託	82,344	90,150
有価証券	2,903,632	3,071,326
貸出金	4,886,221	5,032,034
外国為替	9,528	6,107
リース債権及びリース投資資産	19,261	19,109
その他資産	79,792	97,691
有形固定資産	32,251	32,226
無形固定資産	384	356
繰延税金資産	4,173	1,028
支払承諾見返	45,258	45,140
貸倒引当金	△63,220	△67,979
資産の部合計	8,770,037	9,414,470
負債の部		
預金	7,576,991	8,022,408
譲渡性預金	289,000	250,060
コールマネー及び売渡手形	8,706	29,601
債券貸借取引受入担保金	11,986	1,154
借入金	285,901	491,108
外国為替	116	131
その他負債	77,058	44,642
役員賞与引当金	81	—
退職給付に係る負債	25,539	24,227
役員退職慰労引当金	26	34
株式給付引当金	735	778
睡眠預金払戻損失引当金	337	283
偶発損失引当金	860	780
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	—	12,391
支払承諾	45,258	45,140
負債の部合計	8,322,600	8,922,743
純資産の部		
資本金	24,658	24,658
資本剰余金	20,517	20,517
利益剰余金	361,462	372,606
自己株式	△7,040	△6,971
株主資本合計	399,597	410,810
その他有価証券評価差額金	56,207	88,112
繰延ヘッジ損益	△826	△499
退職給付に係る調整累計額	△7,541	△6,696
その他の包括利益累計額合計	47,838	80,916
純資産の部合計	447,436	491,727
負債及び純資産の部合計	8,770,037	9,414,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
経常収益	87,328	91,880
資金運用収益	54,132	53,640
(うち貸出金利息)	31,523	31,220
(うち有価証券利息配当金)	22,428	22,140
役務取引等収益	13,051	12,975
その他業務収益	8,894	9,999
その他経常収益	11,250	15,264
経常費用	65,725	70,407
資金調達費用	1,803	1,099
(うち預金利息)	522	247
役務取引等費用	4,773	4,836
その他業務費用	10,912	15,370
営業経費	42,078	40,810
その他経常費用	6,157	8,290
経常利益	21,603	21,472
特別利益	—	—
特別損失	28	169
減損損失	28	169
金融商品取引責任準備金繰入額	0	0
税金等調整前四半期純利益	21,574	21,303
法人税、住民税及び事業税	5,644	5,806
法人税等調整額	462	638
法人税等合計	6,106	6,445
四半期純利益	15,467	14,857
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,467	14,857

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益	15,467	14,857
その他の包括利益	7,794	33,077
その他有価証券評価差額金	6,582	31,905
繰延ヘッジ損益	586	326
退職給付に係る調整額	624	845
四半期包括利益	23,261	47,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,261	47,935

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当ありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当ありません。

2020年度第3四半期決算について【単体ベース】

1. 収益状況

2020年度第3四半期累計期間の**コア業務純益**は、外国為替売買損益が改善したほか、経費が減少したこと等から、前年同期比42億25百万円増益の226億15百万円となりました。**経常利益**は、国債等債券償還損の計上等により、有価証券関係損益が減少したこと等から、前年同期比3億52百万円減益の201億88百万円となりました。また、**四半期純利益**は前年同期比7億58百万円減益の141億79百万円となりました。

なお、四半期純利益は通期業績予想を上回っておりますが、今後の与信関係費用の発生を保守的に見込んでおりますこと等から、現時点において業績予想の修正はありません。

(単位:百万円)

	2020年度 第3四半期 累計期間 (9ヵ月間)		前年同期比	2019年度 第3四半期 累計期間 (9ヵ月間)		2020年度 通期 業績予想 (12ヵ月間)
経常収益	82,777		4,171		78,606	
業務粗利益	51,711		△ 3,460		55,171	
[コア業務粗利益]	[59,848]		[2,915]		[56,933]	
資金利益	53,175		177		52,998	
役員取引等利益	6,812		△ 137		6,949	
その他業務利益	△ 8,276		△ 3,500		△ 4,776	
うち国債等債券損益	△ 8,137		△ 6,376		△ 1,761	
うち外国為替売買損益	△ 561		2,299		△ 2,860	
経費	37,233		△ 1,310		38,543	
うち人件費	20,019		△ 269		20,288	
うち物件費	14,443		△ 1,232		15,675	
実質業務純益(一般貸引繰入前業務純益)	14,477		△ 2,151		16,628	
[コア業務純益]	[22,615]		[4,225]		[18,390]	[24,300]
[コア業務純益(除く投資信託解約損益)]	[13,694]		[1,541]		[12,153]	
一般貸倒引当金繰入額①	2,207		2,004		203	
業務純益	12,270		△ 4,154		16,424	
臨時損益	7,925		3,797		4,128	
うち不良債権処理額(△)②	3,926		△ 1,371		5,297	
うち偶発損失引当金戻入益③	79		79		-	
うち償却債権取立益④	-		△ 0		0	
うち株式等関係損益	9,827		5,376		4,451	
うち金銭の信託運用損益	2,508		△ 2,412		4,920	
経常利益	20,188		△ 352		20,540	21,000
特別損益	△ 169		△ 141		△ 28	
法人税、住民税等(調整額含)	5,840		266		5,574	
四半期(当期)純利益	14,179		△ 758		14,937	14,000
与信関係費用[①+②-③-④]	6,054		553		5,501	

- (注) 1. コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券損益
 コア業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券損益
 コア業務純益(除く投資信託解約損益)=コア業務純益-投資信託解約損益
 投資信託解約損益は資金利益に、投資信託解約損は国債等債券損益に計上しております。
2. 2020年度通期業績予想は、2020年11月13日に公表したものであります。

(参考1) 与信関係費用の内訳

(単位:百万円)

	2020年度 第3四半期 累計期間		2019年度 第3四半期 累計期間
		前年同期比	
一般貸倒引当金繰入額 ①	2,207	2,004	203
不良債権処理額(△) ②	3,926	△ 1,371	5,297
個別貸倒引当金繰入額	3,492	△ 1,436	4,928
債権売却損	187	179	8
偶発損失引当金繰入額	-	△ 90	90
責任共有制度負担金	246	△ 23	269
偶発損失引当金戻入益 ③	79	79	-
償却債権取立益 ④	-	△ 0	0
与信関係費用 [①+②-③-④]	6,054	553	5,501

(参考2) 有価証券関係損益の内訳

(単位:百万円)

	2020年度 第3四半期 累計期間		2019年度 第3四半期 累計期間
		前年同期比	
国債等債券損益	△ 8,137	△ 6,376	△ 1,761
売却益	400	290	110
償還益	-	-	-
売却損	107	42	65
償還損	8,410	6,604	1,806
償却 ①	20	20	-
株式等関係損益	9,827	5,376	4,451
売却益	10,923	6,346	4,577
売却損	1,093	1,022	71
償却 ②	1	△ 53	54
金銭の信託運用損益	2,508	△ 2,412	4,920
有価証券減損処理額 ①+②	21	△ 33	54

2. 主要勘定等の状況(末残ベース)

(1) 貸出金

貸出金は、中小企業向け貸出および住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加したこと等から、2020年9月末比1,040億円増加しました。前年同期との比較でも4.4%、2,151億円の増加となりました。

(単位:億円、%)

	2020年12月末	2020年9月末比		2020年9月末	2019年12月末
		2020年9月末比	2019年12月末比		
貸出金	50,397	1,040	2,151	49,357	48,246
うち 中小企業等向け貸出	31,801	769	1,546	31,032	30,255
中小企業向け	19,807	640	1,150	19,167	18,657
個人向け	11,994	129	396	11,865	11,598
うち住宅ローン	11,489	136	394	11,353	11,095
うち地公体等向け貸出	6,513	134	64	6,379	6,449
中小企業等貸出比率	63.1	0.3	0.4	62.8	62.7

(うち宮城県内)

貸出金	36,031	670	1,278	35,361	34,753
うち 中小企業等向け貸出	26,508	536	1,264	25,972	25,244
中小企業向け	14,946	409	879	14,537	14,067
個人向け	11,562	127	385	11,435	11,177
うち住宅ローン	11,079	134	383	10,945	10,696
うち地公体等向け貸出	5,479	47	△ 6	5,432	5,485
中小企業等貸出比率	73.5	0.1	0.9	73.4	72.6
宮城県内貸出金シェア	43.0	0.1	△ 0.1	42.9	43.1

(注) 2020年12月末の宮城県内貸出金シェアは、2020年11月末の計数。

(2) 有価証券

有価証券残高は、国債の運用額が減少したものの地方債等が増加したことから、2020年9月末比986億円増加しました。前年同期との比較でも5.5%、1,626億円の増加となりました。

(単位:億円)

	2020年12月末	2020年9月末比		2020年9月末	2019年12月末
		2020年9月末比	2019年12月末比		
有価証券	30,809	986	1,626	29,823	29,183
株式	1,316	67	△ 82	1,249	1,398
債券	22,053	547	537	21,506	21,516
国債	2,840	△ 220	△ 2,474	3,060	5,314
地方債	8,914	649	2,487	8,265	6,427
社債	10,299	118	524	10,181	9,775
その他	7,440	372	1,171	7,068	6,269

(参考) 金銭の信託	902	42	△ 293	860	1,195
------------	-----	----	-------	-----	-------

(有価証券評価差額)

有価証券	1,190	172	△ 359	1,018	1,549
株式	619	46	△ 125	573	744
債券	71	△ 11	△ 71	82	142
その他	500	137	△ 163	363	663

(参考) 金銭の信託	61	38	△ 54	23	115
------------	----	----	------	----	-----

（3）預金（譲渡性預金を含む）

預金と譲渡性預金の合計額は、公金預金は減少したものの、個人預金および法人預金が増加したこと等から、2020年9月末比 1,026億円増加しました。前年同期との比較でも、6.0%、4,749億円の増加となりました。

(単位:億円、%)

	2020年12月末			2020年9月末	2019年12月末
		2020年9月末比	2019年12月末比		
預金＋譲渡性預金合計	82,968	1,026	4,749	81,942	78,219
うち個人預金	54,884	1,443	3,217	53,441	51,667
うち法人預金	20,850	424	2,511	20,426	18,339
うち公金預金	7,095	△ 705	△ 845	7,800	7,940

(うち宮城県内)

預金＋譲渡性預金合計	77,791	1,100	4,646	76,691	73,145
うち個人預金	52,464	1,413	3,138	51,051	49,326
うち法人預金	18,479	489	2,367	17,990	16,112
うち公金預金	6,724	△ 669	△ 771	7,393	7,495
宮城県内預金シェア	55.9	0.1	0.9	55.8	55.0

(注) 1. 宮城県内預金シェア（譲渡性預金は含まない）は、ゆうちょ銀行を除く。

2. 2020年12月末の宮城県内預金シェアは、2020年11月末の計数。

（4）預り資産残高

預り資産残高は、公共債の減少等により、2020年9月末比53億円減少の5,060億円となりました。前年同期との比較でも△ 5.5%、295億円の減少となりました。

(単位:億円)

	2020年12月末			2020年9月末	2019年12月末
		2020年9月末比	2019年12月末比		
預り資産残高	5,060	△ 53	△ 295	5,113	5,355
投資信託	714	△ 8	△ 93	722	807
保険	3,215	△ 4	△ 77	3,219	3,292
公共債	714	△ 28	△ 106	742	820
外貨預金	164	15	23	149	141
仕組債等（仲介）	253	△ 28	△ 42	281	295

(注) 外貨預金は金融預金およびオフショア勘定を含まない。

（参考）グループ預り資産残高

(単位:億円)

	2020年12月末			2020年9月末	2019年12月末
		2020年9月末比	2019年12月末比		
グループ預り資産残高	6,135	86	△ 33	6,049	6,168

(注) グループ預り資産残高は、当行預り資産残高と七十七証券預り資産残高の合計。

3. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

要管理債権以下の合計残高は、2020年9月末比1億円減少の1,151億円となりました。
不良債権(要管理債権以下)比率は、2020年9月末比0.05ポイント低下し、2.24%となりました。

(単位:億円)

	2020年12月末		2020年9月末
		2020年9月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	206	△ 6	212
危険債権	617	17	600
要管理債権	328	△ 12	340
小計(A)	1,151	△ 1	1,152
正常債権	50,162	1,090	49,072
合計(B)	51,313	1,089	50,224
不良債権比率(A)/(B)	2.24%	△ 0.05%	2.29%

(参考) 部分直接償却を実施した場合

当行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の不良債権比率は1.95%となります。

(単位:億円)

	2020年12月末		2020年9月末
		2020年9月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	57	△ 6	63
危険債権	617	17	600
要管理債権	328	△ 12	340
小計(A)	1,002	△ 1	1,003
正常債権	50,162	1,090	49,072
合計(B)	51,164	1,089	50,075
部分直接償却額	149	0	149
不良債権比率(A)/(B)	1.95%	△ 0.05%	2.00%

4. 自己資本比率

リスクアセットが668億円増加したものの、自己資本額が72億円増加したことから、自己資本比率[国内基準]は2020年9月末比0.01ポイント上昇し、10.19%となりました。

(単位:億円、%)

	2020年12月末		2020年9月末
		2020年9月末比	
自己資本比率[国内基準] a/b	10.19	0.01	10.18
自己資本額 a	4,268	72	4,196
(コア資本に係る基礎項目の額)	(4,270)	(72)	(4,198)
(コア資本に係る調整項目の額)	(2)	(0)	(2)
リスクアセット b	41,877	668	41,209

(注) 2020年12月末の計数は速報値。